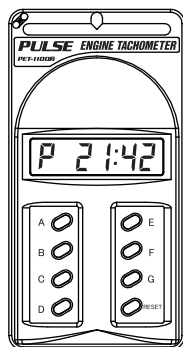
OPPAMA

取扱説明書

PULSE®
エンジンタコメータ
PET-1100R

※品質保証書が含まれています

※本製品は予告無に仕様変更する場合があります

品質保証書

本製品は厳密な品質管理のもとに製造し、品質検査に合格したことを保証いたします。

取扱説明書にしたがった正常な使用状態で、保証期間 (お買い上げから 1 年間) 内に故障した場合には、お買い上げの販売店または当社が無料で修理いたします。

ご氏名　　　　　　　　　　様　　TEL　　(　　)

ご住所

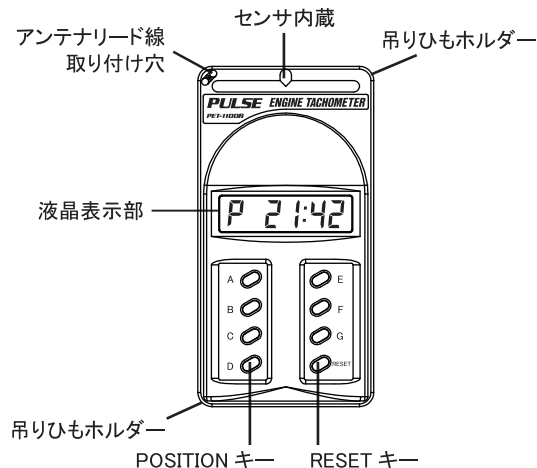
販売店名・住所

お買い上げ
TEL　　(　　)　　年月日　　年　　月　　日

追浜工業株式会社
〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町 14-2
TEL 046-866-2139　　FAX 046-866-3090
E-MAIL : info@oppama.co.jp
ホームページ : http://www.oppama.co.jp/

A. 本機の機能

●本機は、点火プラグ発火の際に発生するパルスを感知するパルスカウント方式のタコメータです。
●2 ストローク 1 ～ 4 気筒、4 ストローク 1 ～ 6・8 気筒のガソリンエンジンの回転数が測定できます。
※ダイレクトイグニションを使用しているエンジンは測定できません。
※ディーゼルエンジンは測定できません。

B. 各部の名称

C. ポジション表

キースイッチ	ポジション	測定可能エンジン ストローク	気筒	測定可能範囲 r/min
A	P 21:42	2 / 4	1 / 2	100 ～ 19000
B	P :43	4	3	100 ～ 13000
C	P 22:44	2 / 4	2 / 4	100 ～ 9500
D	P 23:46	2 / 4	3 / 6	100 ～ 6500
E	P :41	4	1	100 ～ 19980
F	P :45	4	5	100 ～ 7000
G	P 24:48	2 / 4	4 / 8	100 ～ 4800

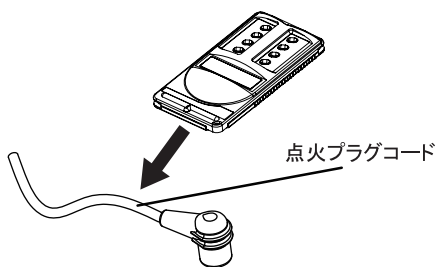
D. 仕様

	ストローク	気 筒
測定可能エンジン	2	1 ～ 4
	4	1 ～ 6.8
回転数表示間隔	0.5 秒	
精度	±10r/min(4 ストローク 1 気筒は ±20r/min)	
電池寿命	約 20,000 時間	
使用温度範囲	-10℃～ +60℃	
保存温度範囲	-10℃～ +60℃	
寸法 (L×W×H)	120 × 62 × 13mm	
本体重量	61g	
付属品	クリップ付きアンテナリード線 吊りひも 取扱説明書 (本紙)	

E. 使用方法

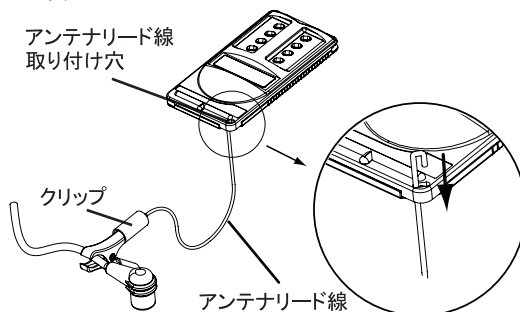
1. 非接触測定 (図 1)

①ポジション表に従って、測定するエンジンのタイプに対応するポジションを選びます。
②選択したポジションのキースイッチを押します。電源がONになり、ポジションが表示されます。
③作動しているエンジンの点火プラグコードに、本機のセンサー位置を図 1 のように近づけます (1cm ～ 50cm の間で数値の安定したところ)。エンジンの回転数は、適正距離を保っている間 0.5 秒間隔で表示されます。
④本機を作動中の点火プラグコードから遠ざけるか、エンジンを停止させると自動的に本項②で選択したポジション表示に切り替わります。
⑤約 1 分後に表示は消えます。(オートオフ)

図 1

2. アンテナリード線 使用測定 (図 2)

①ポジション表に従って、測定するエンジンのタイプに対応するポジションを選びます。
②選択したポジションのキースイッチを押します。電源がONになり、ポジションが表示されます。
③アンテナリード線を図 2 のように本機に取り付けます。
④アンテナリード線を図 2 のように点火プラグコードに接続してください。
⑤エンジンを始動すると、0.5 秒間隔で回転数を表示します。
⑥クリップを外すか、エンジンを停止させると自動的に本項②で選択したポジション表示に切り替わります。
⑦約 1 分後に表示は消えます。(オートオフ)

図 2

アンテナリード線
取り付け穴
クリップ
アンテナリード線

F. 使用上の注意

1. ポジションの選び方

①多気筒エンジンでも同時発火するものがあります。例えば P22 : 44 で正規の 1/2 倍に表示する場合は、P21 : 42 に変更してください。
②エンジンの種類によって捨火方式のものがあります。例えば P21 : 42 で正規の 2 倍に表示する場合は、P22 : 44 に変更してください。
③マグネト点火の 4 ストローク 1 気筒エンジンは 2 ストローク 1 気筒エンジンと発火数が同じ場合が多いため P : 41 と P21 : 42 のポジションをお試しください。

2. 配線上の注意

①アンテナリード線を金属部・水等に接触させないでください。正規の回転数を表示しない場合や、故障の原因となります。
②点火プラグコードが劣化していると正規の回転数が測定できない場合があります。点火プラグコードの交換をしてください。
③本機のセンサー位置、又はアンテナリード線が、ディストリビューターやイグニションコイルに近付くと正規の回転数を測定できないことがあります。これらの影響のない場所に遠ざけてください。

3. 本機の取り扱い

①ノイズ等の影響により、ごくまれに意味のない表示を示す場合があります。そのような時はリセットをしてください。RESET キーを押すと 8888 : 88→P21 : 42 と表示され、通常の使用モードに戻ります。
②本機を落としたり、強い衝撃は避けてください。
③本機は防水構造ではありませんので、水に濡らしたり、濡れた手で触れないでください。
④お手入れは、乾いた柔らかい布か中性洗剤液に浸した、固くしぼった布でお拭きください。シンナー・ベンジンなど揮発性の液体は使用しないでください。
⑤故障かなと思ったら、再度この取扱説明書を読み、作業手順を確認してください。
※本機の仕様、本書の内容は予告なしに変更することがあります。予めご了承ください。

⚠ 注意

多気筒エンジンの場合は、すべての点火プラグコードが集まっている所の中から 1 本をクリップし、さらに各々の点火プラグコードにアンテナリード線を近づけると効果的です。

⚠ 警告

吊りひもをご使用の際は、回転物に巻き込まれないよう、充分ご注意ください。
重大な事故の発生の危険があります。

⚠ 警告

アンテナリード線をご使用の際は、エンジン操作に影響が無いことを必ずご確認ください。
重大な事故の発生の危険があります。